

令和 6 年 2 月 13 日

各報道機関 御中

企画総務部総務広報課長

**第 6 回日本オープンイノベーション大賞において
医学部・下田和哉教授らのグループが「科学技術政策担当大臣賞」を受賞**

この度、2024 年 2 月 14 日内閣府講堂において開催される内閣府主催の第 6 回日本オープンイノベーション大賞授賞式において、本学医学部・下田和哉教授らが「科学技術政策担当大臣賞」を受賞されることになりましたので、お知らせいたします。

同賞の審査においては、Chordia Therapeutics 株式会社（本社：神奈川県藤沢市、代表取締役：三宅洋、以下、Chordia）、京都大学、宮崎大学及び AMED との産学官連携により、官民ファンドからの協力を得て、新規抗がん薬 MALT1 阻害薬（後述）を創出し、国内の製薬会社への導出を成功させたことが、今後日本の創薬エコシステムの新しいロールモデルとして高く評価されたものです。

報道機関各者様におかれましては、下記のとおり授賞式がオンライン形式で行われますので、当日のご視聴をご希望の場合は、以下にて視聴登録後、リンクよりご覧いただくと共に、授賞式前後の個別の取材についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

イベント名：第 6 回日本オープンイノベーション大賞授賞式

日時：2024 年 2 月 14 日

業績名：産学官連携による新規抗がん薬 MALT1 阻害薬の創出

その他：表彰式の様子は、Web 配信されます。

下記内閣府 HP リンクをご参照の上、視聴登録リンクよりご登録下さい。

内閣府 HP

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2023.html>

視聴登録リンク

<https://forms.office.com/r/kyMR88MvDw>

以上

開発の背景

下田教授らのグループは、基礎研究～臨床研究を通して MALT1 阻害剤「CTX-177」を創出しました。CTX-177 の創出に係る研究は、下田教授が約 10 年前に成人 T 細胞白血病リンパ腫（世界的には日本に多く発症し、特に九州地方に多い難治性の血液がん、以下、ATL）のゲノム異常を解明し発表した研究成果を基に始められたものです（Nature Genetics, 2015）。本研究成果は、当初の研究対象であった ATL のみならず他の悪性リンパ腫に対する治療方針に大きな示唆を与えたことでも重要な発見として位置づけられています。

さらに、下田教授のグループは、新規な薬剤のターゲットとして、粘膜関連リンパ組織リンパ腫転座 1（Mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma translocation protein1、以下、MALT1）を選定しました。MALT1 の活性化はリンパ球系の血液細胞のがん化に重要であることが報告されており、MALT1 の選択的な阻害剤として創出された CTX-177 は、リンパ球系の血液腫瘍に抗腫瘍効果を示す画期的な新薬として期待されています。

これらの成果については、下田教授をはじめ、本研究に関わった研究者の共同発表の成果として、米国血液学会にて数回にわたり発表されています（2020 年、2022 年米国血液学会）。

日本オープンイノベーション大賞について

イノベーションの創出を巡る国際的な競争が激化する中で、研究開発等の成果を迅速に社会実装し、社会的ニーズの解決や新たな価値の創造につなげることが大きな課題となっています。そのための方法として、産官学の組織の壁を越えて知識や技術、経営資源を組み合わせた新しい取組みを推進するオープンイノベーションが注目されています。

こうした状況を踏まえ、日本のオープンイノベーションを更に推進するために、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組みを「日本オープンイノベーション大賞」として表彰しています。

第 6 回日本オープンイノベーション大賞について（内閣府）

<https://www8.cao.go.jp/cstp/openinnovation/prize/2023.html>

Chordia Therapeutics 株式会社について

Chordia は、2017 年 11 月に臨床開発品を有するがん領域に特化した研究開発型バイオベンチャーとして、神奈川県藤沢市の湘南ヘルスイノベーションパークに設立されました。

Chordia は、小野薬品工業株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：相良暁）と、2020 年 12 月 15 日付で CT-177 およびその関連化合物に関するライセンス契約を締結しました。契約一時金～開発マイルストーン～売上高に応じたマイルストーンとして、Chordia には最大 496 億円が支払われる見込みです。そのほか、特定の異常を有するがんの効果期待される複数のパイプラインの研究開発を行っています。

詳細については、以下をご参照ください。

<https://www.chorditherapeutics.com>

【プロジェクト関係者リスト】

宮崎大学医学部内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野 教授 下田和哉

京都大学医学研究科腫瘍生物学講座 教授 小川誠司

Chordia Therapeutics 株式会社 Chief Scientific Officer 森下大輔

公益財団法人京都高度技術研究所 京都市ライフイノベーション創出支援センター

アドバイザー 谷田清一

京都大学イノベーションキャピタル株式会社 投資第二部部長 上野博之

① 研究に関する問い合わせ先

宮崎大学医学部医学科内科学講座血液・糖尿病・内分泌内科学分野
教授 下田和哉

TEL : 0985-85-9121 FAX : 0985-85-5194

② 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課広報係 (後田・崎向)

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2818